

MURANO TogoMAKI Fumihiko

村野藤吾展

2020.10.30^{THU} - 12.27^{SUN}

11:00~19:00 (12/27は17:00まで) / 月曜休館 (11/8[日]は設備点検のため休館)

BankART **KAIKO** (横浜市中区北仲通 5-57-2-1F)

槇 文彦展

2020.10.30^{THU} - 12.27^{SUN}

11:00~19:00 (12/27は17:00まで) / 月曜休館 (11/8[日]は設備点検のため休館)

BankART **Temporary** (横浜市中区本町 6-50-1 横浜創造都市センター)



M meets M



榎文彦 + 榎総合計画事務所～人・建築・都市

榎 文彦展

会場 | BankART Temporary (旧第一銀行)



横浜市庁舎



金沢シーサイドタウン 撮影：榎総合計画事務所



スパイラル 撮影：北嶋俊治



ヒルサイドテラス 撮影：榎総合計画事務所

Mmeets M。ちょうどひと世代の差がある二人の建築家が、ここ横浜の街で出会います。大規模再開発が決まり、一部は保存されますが、惜しまれながら姿が消えていく村野の旧庁舎。一方、6,500人の職員を包括し、横浜の新しい発信基地としてスタートした榎の新市庁舎。2020年、この新旧のリレーが展開されています。この機を捉えて、二人の日本を代表する建築家の展覧会を開催したいと思います。場所は、道路を挟む「旧帝蚕倉庫」と「旧第一銀行」を復元／リノベーションしたアートスペース。二人の偉大な建築家と二棟の歴史的建造物のコラボレーションに是非ご期待ください。

榎文彦(1928～)は、ヒルサイドテラス、スパイラル、幕張メッセやニューヨークの4 WTC など、国内外で現代建築を牽引する影響力のある建築の設計で知られています。ここ横浜でも六大事業の都心部強化事業(みなとみらい地区など)、金沢地先埋立事業(シーサイドタウンなど)に深い関わりがあります。この時期の榎は、田村明ひきいる横浜の街づくりの、「アーバンデザイナー」としての役割を担っていました。北沢猛が2002年に創造都市構想を提案するにあたり、歴史的建造物を残し、そこにクリエイティビティを挿入しながら、街を再生していくことを推進しはじめた時にも、二棟の歴史的建造物(旧第一銀行、旧富士銀行)の再生を担いました。それゆえ、今回の新市庁舎の設計は、横浜の街づくりに長年携わってきた、榎の提案が評価されて実現したものであり、横浜の中心として今後大きな役割を果たしていくことでしょう。

MAKI Fumihiko

1928年東京都に生まれる。1952年に東京大学工学部建築学科を卒業し、アメリカのクランブルック美術学院及びハーバード大学大学院の修士課程を修了。その後は、スキッドモア・オーウィングズ・アンド・メリル、セルト・ジャクソン建築設計事務所、ワシントン大学のキャンパス・プランニング・オフィスに勤務する。ワシントン大学とハーバード大学で都市デザインの準教授も務める。1965年に帰国、株式会社榎総合計画事務所を設立。40人の所員と共にオフィスを構えながら、東京大学教授を務め、1989年まで教壇に立つ。現在に至るまで日本を含め、国内外で設計活動を続けている。

Mmeets M

村野藤吾(1891～1984)は日本近代の建築家を代表する存在であり、日比谷の日生劇場(1963)や箱根プリンスホテル(1978、現ザ・プリンス箱根芦ノ湖)の設計者としても知られています。また2005年には、広島の世界平和記念聖堂(1953)が戦後建築として初めて重要文化財に指定され、大きな話題を呼びました。旧横浜市庁舎(1959)は、その村野藤吾の数少ない庁舎建築作品のひとつであり、その代表的なものとして位置づけられます。また、旧庁舎は横浜開港100周年事業として起案されたものであり、近隣の歴史的建造物と調和する優れた景観を生み出すなど、横浜の中心市街地において、歴史的、景観的にも大きな役割を果たしてきました。本展では、旧庁舎の30点以上の設計原図、模型、写真を中心に、関東圏の作品や代表作の模型・写真を展示し、その功績を振り返ります。



日本生命日比谷ビル (1963) 外観 撮影：市川靖史



日本生命日比谷ビル (1963) 日生劇場内観 撮影：市川靖史



旧横浜市庁舎 (1959) 市会棟側外観 撮影：市川靖史



旧横浜市庁舎 (1959) 行政棟側外観 撮影：市川靖史

MURANO Togo

1891年佐賀県に生まれる。1918年に早稲田大学理工学部(建築学科)卒業後、渡邊節建築事務所に入所。1929年大阪に村野建築事務所(後に村野、森建築事務所)を設立。1984年兵庫県で逝去(93歳)。古典様式からモダニズム、和風までさまざまな建築様式の手法を取り入れた独自の作風で、300を超える個性豊かな建築を設計した。また近代建造物として初めて国宝に指定された迎賓館(旧赤坂離宮)の改修も手がけた。

- 村野藤吾建築展実行委員会は、JIA 神奈川、神奈川県建築士会、日本建築学会関東支部神奈川支所等によって構成されています。
- 村野藤吾展は、JIA 神奈川の建築フォーラムの一環として開催されます。
- 村野藤吾展は、一般財団法人神奈川県建築安全協会の助成を受けて開催されます。

共通チケット 1,600円(一般)、1,000円(大学生、専門学校生、横浜市民/在住) 600円(高校生、65才以上)、無料(障がい者手帖お持ちの方/付添1名・中学生以下)
※ご本人に限り会期中何度でも入場可能です

アクセス BankART Temporary (横浜市中区本町6-50-1 / tel 045-663-2813) みなとみらい線「馬車道」駅1b出口直結徒歩1分
BankART KAIKO (横浜市中区北仲通5-57-2-1F / tel 045-263-9590) みなとみらい線「馬車道」駅2a出口直結徒歩1分

お問合せ 展覧会開催連絡協議会 (BankART1929) info@bankart1929.com tel 045-663-2812

相互チケット割引 (チケット提示で入場料100円割引) 建築家 浦辺鎮太郎の仕事 横浜展「都市デザインへの挑戦」
2020年11月14日[土]～12月13日[日] 会場|横浜赤レンガ倉庫1号館 2F スペース 開館時間|10:30～18:30 (入館は18時まで)



主催：村野藤吾建築展実行委員会、榎文彦建築展実行委員会 共催：横浜市文化観光局 後援：横浜市建築局、横浜市都市整備局
特別協賛：鹿島建設株式会社、京浜急行電鉄株式会社、株式会社竹中工務店、東急株式会社、三井不動産株式会社、朝倉不動産株式会社、戸田建設株式会社、川本工業株式会社、株式会社キクシマ、株式会社共栄社、株式会社松尾工務店、横浜エレベータ株式会社、株式会社渡辺組、神奈川県空調衛生工業会、神奈川県建設業協会、神奈川県建設業協会横浜支部、株式会社ディー・エヌ・エー *掲載順は協賛金口数、組織名五十音順
協力：[村野藤吾展] 尼崎市教育委員会、京都工芸繊維大学美術工芸資料館、MURANO design、村野藤吾の設計研究会、目黒区美術館、東京都立大学小泉研究室 *五十音順

